

AutomationDesk の リモート制御

- ✓ リモート制御による テストの実行
- **✓ COM/DCOM インター** フェース経由のアクセス
- AutomationDesk-**Automation Server**

▼ COM インターフェース

クライアントアプリケーション

経由でテストを実行する

の例

テスト自動化およびテスト管理ツールである AutomationDesk のバージョン 1.3 には、リモート制御のた めの COM インターフェースが備わっています。 この新しいインターフェースは、 バッチプロセスのプログラミ ングといった作業で使用したり、ユーザが独自の GUI やダイアログを設計するのに使用したりできます。 も う 1 つの技術革新は AutomationDesk - Automation Server です。これは、テストを実行するための、 AutomationDesk のフルバージョンに代わるコスト削減型サーバです。

新しい COM インターフェース

AutomationDesk 1.3 には、AutomationDesk の選択 された機能をリモート制御および自動化するための COM ベースのアプリケーションプログラミングインターフェース (API) が備わっています。一般的な用途のいくつかを次に 示します。

- ✓ バッチプロセスのプログラミング (Python、Visual Basic、C++ などを使用)
- ✓ インタラクティブ GUI の設計 (例:テスト実行目的)
- ✓ AutomationDesk へのその他のツールの接続

COM インターフェースは言語に依存しないインターフェー スで、これを使用すると、AutomationDesk の Project Manager で使用可能なほとんどすべての関数を呼び出す ことができます。たとえば、以下のことを実行できます。

✓ AutomationDesk のプロジェクトのロードおよび 保存

Execute	Sequence Name	Project and Sequence Path		Progress	Running	Result	View Report	
7	DefaultText	ReportLibraryDemo/AddText		-		66		
2	TextConfigurations	ReportLibraryDemo/AddText				66	~	
<i>y</i>	PythonFormatStrings	ReportLibraryDemo/AddText				6	-	
/	PrintTime	ReportLibraryDem	o/AddText	200000		6		
~	DefaultTable	ReportLibraryDem	o/AddTable			66		
	ConfigureRowColor	ReportLibraryDem	o/AddTable					
/	ConfigureCellColor	ReportLibraryDemo	o/AddTable			66	-	
<i>y</i>	AddDictionaryInTable	ReportLibraryDem	o/AddTable			6	7	
~	AddImages	ReportLibraryDem	o/AddPicture			66	-	
	AddDocument	ReportLibraryDem	o/AddURL					
	AddwwwLink	ReportLibraryDem	o/AddURL					
~	AddDataObjects	ReportLibraryDem	o/AddDataObjects			66	V	
7	SinGeneration	ReportLibraryDem	o/Add2DPlot	02222		66	V	
MultipleSignals		ReportLibraryDemo/Add2DPlot					57.5	
~	SubPlots	ReportLibraryDem	o/Add2DPlot	-		6	~	
Load Project		Import Project	Select all Checkb	oxes	Execute		View Report	3
Save Project		Export Project Deselect all Checkbo		boxes E	oxes Edit Parameters		Close	

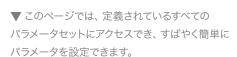
- ✓ AutomationDesk のプロジェクトのエクスポートおよ びインポート
- ✓ Int、Float、および String 型のデータオブジェクトの パラメータ設定
- *プ*ロジェクト、フォルダ、およびテストシーケンスの実行
- 現在の実行ステータスの表示
- ✓ テストレポートの生成

COM API 経由でカスタムライブラリのテストシーケンスを 例示することもできます。 ただし、 テストシーケンスを COM API 経由で編集することはできません。

AutomationDesk の新しい自動化サーババー

AutomationDesk - Automation Server は、独自のユー ザインターフェースを持たないコスト削減型の新しいサー バで、AutomationDesk バージョン 1.3 から使用できま す。 Automation Server には新しい COM インターフェー ス経由でアクセスするので、リモート制御されるフルバー ジョンの AutomationDesk と同じ機能を使用できます。 Automation Server は DCOM 経由で制御することも可 能です。この新しいランタイムバージョンにはライセンス費 用を削減できるという利点があるので、たとえば HIL シミュ レータでの自動化されたテストの実行において、フルバー ジョンの包括的な機能は必要ないという場合に便利です。







Che New 1

@ AS

V ASM Ca

duration [s]

0

8

道路の建設

各試験に適した道路を準備するため、ModelDeskにはRoad Generatorが統合されています。これを使用して、セグメント単位で道路を作成します。3次元のプレビューでは、構築を行いながら道路全体または道路の各部分を確認できます。セグメントリストでは、各セグメントの長さ、カーブ半径、傾斜などを定義および操作します。リストから選択したセグメントは道路プレビューに表示されます。横方向の坂、隆起、表面の性質といった道路の特殊な特徴は、セグメント単位で、またはグローバルに定義できます。車両シャーシに厳しい条件を与えるために、路面の不規則性(道路の損傷)を含めるための多くのオプションがあります。

運転操作

車両と道路を定義したら、ModelDesk の Maneuver Editor を使用して車両の実際の動きを指定します。 運転操作も時間または距離ベースで定義されるセグメント単位で作成します。 道路および道路セグメントは、参照として

Maneuver Editor にインポートできます。そして、セグメントごとに個別に運転操作を定義することができます。たとえば、[FollowRoad] を使用すると、モデルに統合されたドライバはただ道路に沿って進みます。他のセグメントでは、たとえば障害物を避けるステアリング操作を実行させることができます。車両の前進方向の動作は、ペダルとギアの挙動によって定義します。速度を内部のドライバに任せると、ドライバは道路の特徴に適した目標速度を使用するようになります。

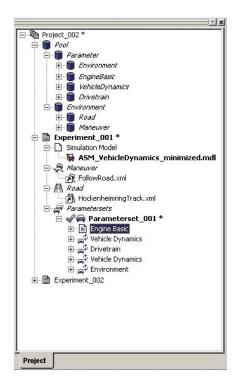


Dridse

0

Proview

60,000 30,000 100,00 30,000



▲ 試験およびそのパラメータセットを管理する にはナビゲータを使用します。